

米倉教公の月間為替市場見通し

8月号

ドル/円予想レンジ 108.50 - 114.00 円

『8月は米国債の利払い・償還があり円高に注意！』

ドル/円の8月勝敗表

8月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	88.42	97.34	8.92	10.09%	陽線
1996年	106.81	108.85	2.04	1.91%	陽線
1997年	118.57	121.2	2.63	2.22%	陽線
1998年	144.75	139.2	-5.55	3.83%	陰線
1999年	114.53	109.62	-4.91	4.29%	陰線
2000年	109.32	106.66	-2.66	2.43%	陰線
2001年	124.95	118.75	-6.2	4.96%	陰線
2002年	119.81	118.3	-1.51	1.26%	陰線
2003年	120.55	116.89	-3.66	3.04%	陰線
2004年	111.05	109.1	-1.95	1.76%	陰線
2005年	112.63	110.6	-2.03	1.80%	陰線
2006年	114.61	117.42	2.81	2.45%	陽線
2007年	118.6	115.75	-2.85	2.40%	陰線
2008年	107.89	108.81	0.92	0.85%	陽線
2009年	94.77	93.13	-1.64	1.73%	陰線
2010年	86.32	84.18	-2.14	2.48%	陰線
2011年	77.15	76.64	-0.51	0.66%	陰線
2012年	78.1	78.36	0.26	0.33%	陽線
2013年	97.87	98.13	0.26	0.27%	陽線
2014年	102.78	104.06	1.28	1.25%	陽線
2015年	123.84	121.23	-2.61	2.11%	陰線
2016年	102.26	103.39	1.13	1.11%	陽線
平均			-0.82	2.42%	9勝13敗

★8月は米国債の利払いと償還！

1995年以降の過去22年間のドル/円では、8月は9勝13敗と始値から終値で陰線となることが多い。一方、値幅での平均値は0.82円の円高となっている。また、変動率は2.42%と変動率も高いことが多い。8月は米国債の利払いと償還が中旬にあり、本邦投資家からの円転（ドル売り・円買い）が入りやすい月となっている。また、米4-6月期GDPの失望による長期金利の低下や北朝鮮の弾道弾ミサイル（ICBM）の発射、米トランプ政権の更迭や辞任などの人事混乱などでリスク回避の円高になりやすい地合いとなっている。さらに、投機筋の円ショートポジションが膨らんでいることから、もう一段の円高ではストップロスの円の買い戻しも警戒されている。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



★ドル/円週足では52週線を維持出来るか

週足チャートでは、上値では200週線の111.30円や13週線の111.54円が、下値では52週線の110.07円が抵抗ラインとなっており、狭いレンジ内での動きとなっている。上抜けした際は、26週線がレジスタンスラインとなりやすい。一方で、52週線を下抜けると6月16日週安値108.78円が視界に入る。この価格を下抜けるとダブルトップネックライン割れとなる。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）は、%K：38.22、%D：52.74と%Kと%Dはかい離幅を拡大しながら下向きとなっている。ロウソク足でも前週のロウソク足に対して、上値・下値切り下げとなっており、下落基調が維持されている。中期的には、下落基調となっていることから注意。ただ、52週線で2度下げ止まったことから意識されやすい。

★まとめ

8月は米国債の利払い・償還が中旬に払われることから、本邦機関投資家のドル売り・円買いが入りやすく、中旬までは円高傾向となりやすい。また、8月13日から9月5日まで水星逆行があり、この期間はボラティリティが高まるものの、トレンドを形成しにくい期間となる。そして、水星逆行期はオシレーターが劣化することから、買われ過ぎ・売られ過ぎからもう一段押すことも多く、利益確定は早目にした方が良い。トランプ政権内では、更迭や辞任が頻繁に出ており、人事の混乱している。北朝鮮も弾道弾ミサイル（ICBM）の発射を繰り返していることから地政学リスクも高まってきている。さらに、シカゴ・マーカントイル取引所で投機筋の対米ドルでの円ショートポジションは121,489枚とショートポジションが積み上がっている。そのため、もう一段の円高ではポジションの手仕舞いによる円高が進行が加速する可能性もある。日米金利差から過度な円高は抑制される可能性は高いが、それでも瞬間的な円高には注意が必要となる。

★8月の主な材料

08月01日：RBA政策金利公表、中国6月財新製造業PMI、ユーロ圏第2四半期GDP・速報、米7月ISM製造業景況指数

08月03日：安倍政権・内閣改造、中国7月財新非製造業PMI、トルコ7月消費者物価指数、英MPC・議事録及び四半期インフレ報告発表、米7月ISM非製造業景況指数、アストロ＝NYダウ重要変化日

08月04日：米7月雇用統計、米6月貿易収支、アストロ：為替重要変化日（7日まで）

08月07日：JPX日経インデックス銘柄入替公表

08月08日：中国7月貿易収支、アストロ＝満月

08月09日：中国7月消費者・生産者物価指数

08月10日：NZ中銀政策金利公表、日経平均オプションSQ、米7月生産者物価

08月11日：東京市場休場（山の日）、米7月消費者物価指数

08月14日：中国7月小売売上高・鉱工業生産・固定資産投資、アストロ＝水星の逆行スタート（9月4日まで）

08月15日：英7月消費者・生産者・小売物価指数、米7月小売売上高

08月16日：英7月雇用統計、米加NAFTA再交渉開始

08月17日：NZ第2四半期卸売物価、豪7月雇用統計

08月18日：アストロ＝為替・日経平均重要変化日（21日まで）、NYダウ重要変化日（19日まで）

08月21日：アストロ：皆既日食

08月24日：英第2四半期GDP・改定値、カンザス連銀主催経済シンポジウム(26日まで)

08月25日：独第2四半期GDP・改定値、アストロ＝土星の逆行終了

08月30日：中国8月製造業PMI、米第2四半期GDP・改定値

08月31日：加第2四半期GDP

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。